

## 研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学 内科学 教室

### 記

研究の名称	健康科学クリニック受診患者における ALT 値の変化と背景因子との関連性の検討
対象	2015 年 4 月 1 日から 2024 年 2 月 12 日までの期間に健康科学クリニックで検診を受けられた 20 歳以上の患者さんの診療データを研究に利用いたします。本研究では、10 万例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ( 2024 年 4 月 24 日 ) ~ 2029 年 2 月 12 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：近年、国民病のひとつである肝臓病で最も頻度が高かった B 型肝炎や C 型肝炎といったウイルス性肝疾患に対する治療は劇的な進化を遂げました。そのため早期に治療を行えば、高い確率で治療可能な時代となりました。しかし、肝臓は沈黙の臓器と呼ばれるように病状が進行し肝硬変や肝臓がんとなってから医療機関を受診する場合がまだまだ多くみられます。最近ではウイルス性肝疾患による死亡者が減少傾向にある一方で、生活習慣病からくる脂肪肝は増加しております。2023 年、肝臓学会総会で発出された「奈良宣言」は、一般的な健康診断で広く測定されている ALT 値に注目し、健康診断で ALT &gt; 30 であった場合、適切な医療を受けることが勧められています。本研究では ALT 値の変化に着目し、ALT30 以下が達成できる患者とそうでない患者の違いを検討することを目的としました。この研究を行うことにより、</p>

	<p>ALT 値の変化がどのような影響を人体に与えるのかが判明する可能性があります。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2024 年 4 月 24 日）</p>
<p><b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b></p>	<p>試料：なし</p> <p>情報：検査データ、診療記録等</p>
<p><b>利益相反について</b></p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 内科学 教授 西川 浩樹</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができ</p>	

ねますので、予めご了承ください。

**問い合わせ窓口**

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学 教室

担当者 後 昂佑

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 58596

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
研究責任者 西川 浩樹 殿

研究の名称	健康科学クリニック受診患者における ALT 値の変化と背景因子との関連性の検討
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者

住所

氏名(自署)

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者(続柄: )

住所

氏名(自署)